

地域創生コラボレーションプロジェクトへの参画

- 1 地域創生コラボレーションプロジェクトへの参画
(ひょうご地域創生フェス2026「カケルDAY」等)

1 地域創生コラボレーションプロジェクトへの参画

(1) 地域創生コラボレーションプロジェクト 全体像

五国のご縁プロジェクトの一つである“**地域創生コラボレーションプロジェクト**”では、地域づくりに関心のある県民や企業、団体、市町などが、地域を越えてつながり、交流しながら、新たな価値を創出しているけるよう、県内各地で生まれた**地域創生の好事例を五国全体へ広げていく**ことを目指す

○地域創生コラボレーションプロジェクト 全体像



1 地域創生コラボレーションプロジェクトへの参画

(2) ひょうご地域創生フェス2026「カケルDAY」

①開催概要

県内各地の地域創生のプレイヤーがブースを出展し、自身の活動紹介や**強み・ニーズを可視化**することで、出展者や来場者等とのマッチング（コラボレーション）する機会を提供し、新たな価値を創出する

■日 時：令和8年9月3日（木）10:00～17:00

■場 所：KIITO（神戸市中央区小野浜町1-4）

■参加者：地域活性化に取り組む個人、団体、企業、学生、行政 など

■来場者数：約1,000人（昨年度並）

■内 容：①ステージイベント（実践者による基調講演、**アクション委員会委員によるパネルディスカッション** など）

②出展ブース

③交流ゾーン（**来場者も巻き込んだマッチングを促進するイベント等の仕掛けを検討**）

④行政・起業相談ブース（行政、金融機関（みらいリーナルパートナーズ）、しごとサポートセンター 等）



〈一般枠・学生枠 ブース出展者数〉

区分	一次	二次	学生枠
初回	18	精査中	3
2回目	18	精査中	2
計	36	精査中	5

※行政・起業相談ブース、飲食ブースは除く

※二次募集は出展内容を精査中のため変動あり



今年度のブースはテント形式でマルシェのような雰囲気です



出展者の「強み」「ニーズ」を可視化した活動紹介ポスターで、フェス当日の交流を促進

1 地域創生コラボレーションプロジェクトへの参画

(2) ひょうご地域創生フェス2026「カケルDAY」

②アクション委員会の関わり方

- ・昨年度はテーマに合わせて委員個人に対してファシリテーターとして登壇を依頼したが、**今年度はアクション委員会としてステージイベントへの参加をお願いしたい**
- ・第三期地域創生戦略に携わった委員の皆様から「地域創生」について語っていただくことで、出展者や来場者に戦略の背景や意図を伝えていただく

〈ステージイベント案〉

■形 式：アクション委員会委員によるパネルディスカッション

■テーマ：「これからの地域創生は“誰が”担うのか？」（仮）

〔モデレーター〕 上村先生？

〔議論の流れ〕 ①兵庫県の現状（人口減少、人口偏在 等）

②それぞれの立場で感じていること（良い兆し、悪い兆し（課題））

③今後の方向性（地域創生戦略に触れながら）

※出展者や来場者を巻き込んだ議論ができるような流れを検討

■狙 い：出展者や来場者に「自分達の取り組み」の納得感や共感を生むことで、取組の強化や横展開につなげる

■時 間：約 1 時間程度

■位置付け：アクション委員会の業務として整理

1 地域創生コラボレーションプロジェクトへの参画

(3) 地域交流会「T7サミット」の開催

○地域交流会

- ・地域創生フェスへの参加が少ない地域（但馬、丹波、淡路）からの参加を促すため、**地域創生フェスの地域版（ミニフェス）**として今年度から実施
- ・地域のために活動する人の**交流する場・学び合う場**として開催



○地域交流会「T7サミット」 ※地域交流会として初開催

但馬・丹波地域を中心に地域創生のプレイヤーが集まり、課題共有や意見交換を実施

日 時：R8.6.25（木）13:00～18:00

場 所：豊岡市交流センター「豊岡稽古堂」

企画メンバー：地域創生フェス2025参加者を中心に構成

参加数：65名（〔但馬〕44名、〔丹波〕5名、〔その他〕16名）※当日参加は含まない

内 容：①地域創生フェス2025参加者による活動発表・クロストーク
②全員参加型ワークショップ（テーマ：「観光」「食と農」「活性化」）
※プログラムの合間には参加者ブース等で参加者同士の交流を促進



昨年度フェス参加者による活動報告



フィッシュボウル型ワークショップ

〈成果〉

- ・但馬・丹波エリアの人材の掘り起こし（昨年度フェス参加登録 但馬7、丹波3）
- ・地域資源を活用したグッズ制作事業者と観光関連事業者がコラボレーションを検討するなど、交流プラットフォームとして機能

⇒ アンケート結果を踏まえ、成果や課題の詳細を今後整理



参加者によるブース出展

1 地域創生コラボレーションプロジェクトへの参画

(4) 地域交流会「ひょうご五国オフラインミートアップ」の開催

「カケルDAY」での交流・マッチングを促進させるため、**出展者同士や昨年度出展者等との交流**に加え、**フェス当日の磨き上げ支援（伴走支援）**を行うことを目的に**地域交流会の1つとして位置づけ**て開催

開催日・場所：[摂津] 7/31（金）神戸県民センター
[播磨] 7/10（金）中播磨県民センター
[但馬] 7/13（月）但馬県民局
[丹波] 7/27（月）丹波県民局
[淡路] 7/2（木）淡路県民局

伴走支援：・フェス当日に使用するポスター（マッチングのための強み・ニーズを記載）の壁打ち、ブラッシュアップ
・出展内容の磨き上げ



ひょうご地域創生コラボレーションプロジェクト
「アイデアシート」
記入例（ご参考）

あなたのアイデアを具体的にするために、以下のステップに沿って、あなたのアイデアを記入してください。記入の際は、必ず「現状」と「理想」の両方を記入してください。記入の際は、必ず「現状」と「理想」の両方を記入してください。

①今ある状況（現状：As Is）	②現状と理想のギャップを埋める解決方法	③目指す未来（理想：To Be）
今の解決したい「お困りごと」は何ですか？ 「現状」「どのように」書きますか？ 「現状」 ・山崎市に在住している人 ・山崎市の周辺で暮らしている人 ・山崎市の周辺で暮らしている人 「どのように」 ・山崎市に在住している人 ・山崎市の周辺で暮らしている人 ・山崎市の周辺で暮らしている人	②のギャップを埋める解決方法はありますか？ 「現状」「理想」を記入してください。 「現状」 ・山崎市に在住している人 ・山崎市の周辺で暮らしている人 ・山崎市の周辺で暮らしている人 「理想」 ・山崎市に在住している人 ・山崎市の周辺で暮らしている人 ・山崎市の周辺で暮らしている人	理想に対して、あるべき未来・理想（＝理想）はどのような状態でしょうか？ 「理想」 ・山崎市に在住している人 ・山崎市の周辺で暮らしている人 ・山崎市の周辺で暮らしている人



昨年度のオフラインミートアップの様子（出展者の伴走支援（アイデアシートの壁打ち、ブラッシュアップ）の一環として実施）